一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和４年度　第１回定期総会

議案書

議案審査

1)　第１号議案　令和３年度事業報告

2)　第２号議案　令和３年度収支会計報告及び監査報告

3)　第３号議案　令和４年度事業計画および予算案

4)　第４号議案　ひまわり奨学金の設立について

5)　第５号議案　令和４・５年度理事の選出について

6)　その他

※ 沖臨技ホームページに掲載いたしますのでご覧ください

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

令和 4 年度　第 1 回定期総会

令和 4 年 6 月 18 日（土）　浦添市産業振興センター・結の街

次第

一、司会者あいさつ

一、開会の辞

一、会長あいさつ

一、議長選出

一、総会役員選出
　資格審査委員・議事運営委員任命

一、資格審査委員・議事運営委員報告

一、議案審査
1）第 1 号議案　令和 3 年度事業報告
2）第 2 号議案　令和 3 年度収支会計報告及び監査報告
3）第 3 号議案　令和 4 年度事業計画および予算案
4）第 4 号議案　ひまわり奨学金の設立について
5）第 5 号議案　令和 4・5 年度理事の選出について
6）その他

一、総会役員解任

一、議長あいさつ

一、閉会の辞

令和３年度

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会　各賞受賞者

令和３年 秋の叙勲

川上　国男　　（元ハートライフ病院）
豊田　善成　　（元琉球大学医学部附属病院）

令和３年度 日臨技地域貢献賞（九州支部）

根路銘　均　　（元沖縄県立八重山病院）

令和３年度 沖縄県医事功労者知事表彰

運天　芳浩　（沖縄協同病院）

令和４年度永年職務精励者表彰賞（11名）

新垣直彦（琉球大学病院）
伊禮千秋（翔南病院）
大城織江（那覇市立病院）
又吉美和（大浜第一病院）
久高和枝（友愛会医療センター）
仲間美香（沖縄県立中部病院）
前泊智秋（沖縄県立中部病院）
宮里博子（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）
神山良子（沖縄協同病院）
他2名

令和3年度事業報告

令和３年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に翻弄された１年でした。昨年７月～9 月にかけての第五波では、デルタ株が猛威をふるい、感染力と重症化率の増大が特徴的で、各医療機関が逼迫した状況でした。そして、年明けから３月にかけては、重症化率は低いものの、さらに感染力の強いオミクロン株が急拡大し、2 月には初めて全国で新規陽性者が１日 10 万人を超える事態となりました。

このような中、沖臨技の事業活動は予定していた事業の半分も行えませんでした。例年６月下旬から７月初旬に行われておりました「新人宿泊研修会」は、2 年連続中止となり、公益事業の一環のなごみ会主催の「県民健康フェスタ」はこれも 2 年連続中止となりました。しかし、沖臨技主催の「検査と健康展」は第六波が到来する前の 12 月にイオン具志川店にて縮小して開催することが出来ました（パネル展示とパンフレット配布のみ）。

学術活動に関しては、前年度と同様、会場に集まっての研修会等はすべて自粛することとなり、各分野の研修会は、すべてZoomを活用したオンライン研修会となりました。研修会の数自体激減したことは非常に残念ではありましたが、離島を含め全国どこからでも参加できる点は大きなメリットであります。

特に令和3年度は、当県が担当で第55回の九州支部医学検査学会を開催いたしました。当初現地開催を想定しておりましたが、第五波到来により、ハイブリッド開催かＷｅｂのみでの開催かをギリギリまで決定できず、その選択に苦慮いたしました。結果的にはＷｅｂのみでの開催で無事盛会に終えることが出来ました。主たる企画に関しては現地でのライブ配信となり、宮島会長には現地に赴いていただき、タスクシフト･シェアに関する最新情報や臨床検査の将来展望についての熱い思いを拝聴することが出来ました。参加者1,094名（Web＋現地参加）と7年前の現地開催よりはやや多く、展示17社、広告15社、共催セミナー6社、寄附3社とこのような状況下にも拘わらず多くの賛助会員の皆様にご協力をいただきました。改めましてこの場をお借りして御礼を申し上げます。

日臨技事業の重点事項である「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」については、実務委員対象の九州支部での講習会を当初9月に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症蔓延により12月に延期となりました。それを受けて、当県でも2月に第一回目を開催する予定でしたが、第六波の影響で4月に延期となりました。今後3年間かけて10回（600名）開催していく予定です。一方、もう一つの重点事項である「臨地実習指導者講習会」につきましては、10月に各都道府県から２名ずつ参加してZoomを用いたWebにて開催されました。沖臨技からは、2名の理事に参加していただき、2月末に行われました九州支部での講習会にて世話人として協力していただきました。この講習会には沖縄県からは4施設の担当者が受講されましたが、臨地実習を受け入れている施設ではこの講習会を受講された臨地実習指導者の配置が義務付けられるため、まだ受講されていない該当施設におかれましては、早めに受講されることをお勧めいたします。

ワクチン接種に関しましては、その打ち手不足から、国は特例として我々臨床検査技師や救命救急士、歯科医師等も講習会を受けることによって、打ち手として動員できるよう

になりました。沖臨技からは83名の方が実技講習も終え、打ち手として活躍できる状況となっております。実際、琉球大学病院では約1,200名の職員や学生を対象に14名の臨床検査技師がワクチン接種を担当いたしました。また、ハートライフ病院では約300名の地域住民や職員を対象に8名の臨床検査技師が対応していただいたとのことです。

令和3年度は、理事会開催につきましても、ほぼすべてZoomを用いたWeb開催としましたが、やはりWebではなかなか積極的な発言が得られず、コミュニケーションがとりにくい状況であった点が難点で、きちんと情報共有が出来ているか危惧するところであります。

「各賞受賞祝賀会・新年会」につきましては、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としましたが、今回、川上国男氏（元ハートライフ病院）と豊田善成氏（元琉大医学部附属病院）の2名が叙勲を、根路銘均氏（元沖縄県立八重山病院）が日臨技地域貢献賞を受章されました。また、沖縄県医事功労者知事表彰を運天芳浩氏（沖縄協同病院）が受章されております。誠におめでとうございます。紙面をもってお祝い申し上げます。

以上、令和３年度の事業報告を述べてきました。COVID-19は新たな変異株の出現の可能性もあり、もうしばらくはこのような状況が続くと想定されております。withコロナにおいては、研修会の在り方もWebを中心とした方法に変わりつつあり、離島を含め全国どこからでも視聴できる点は最大のメリットです。是非、このような環境を上手く利用して、会員の皆様の自己研鑽に活かしていただければ幸いです。

一般社団法人沖縄県臨床検査技師会　会長　手登根　稔

第 1 号議案　令和 3 年度報告（総務）

【総務関係】

1. 定期総会
   ・令和 3 年度　第 1 回定期総会　書面決議
   日時：令和 3 年 6 月 19 日（土）17：00～　場所：P's SQUARE（浦添市西原 2-4-1）

2. 定例理事会 Web 会議
   ・第 1 回　理事会　日時：令和 3 年　4 月 14 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 2 回　理事会　日時：令和 3 年　5 月 12 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 3 回　理事会　日時：令和 3 年　6 月 14 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 4 回　理事会　日時：令和 3 年　7 月 14 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 5 回　理事会　日時：令和 3 年　8 月 11 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 6 回　理事会　日時：令和 3 年　9 月　8 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 7 回　理事会　日時：令和 3 年 10 月 13 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 8 回　理事会　日時：令和 3 年 11 月 10 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 9 回　理事会　日時：令和 3 年 12 月　8 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 10 回 理事会　日時：令和 4 年　1 月 12 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 11 回 理事会　日時：令和 4 年　2 月　9 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所
   ・第 12 回 理事会　日時：令和 4 年　3 月　9 日（水）19：00～　場所：沖臨技事務所

3. 「タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」九州支部実務者研修会
   日時：令和 3 年 12 月 19 日（日）8：30～16：45　　会場：熊本保健科学大学
   参加：手登根会長、山城副会長、安里副会長、瀬戸副会長、田盛事務局長、仲間理事、登川理事

4. タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会（4 月に延期）
   日時：令和 4 年 2 月 20 日（日）9：00～17：25　場所：沖縄産業支援センター

6. 臨床検査室責任者会議　（兼タスクシフト/シェア啓発研修）（Web 併用）
   日時：令和~~元~~3 年 6 月 19 日（土）15：00～　場所：P's SQUARE（浦添市西原 2-4-1）

7. 各賞受賞祝賀会・新年会　（中止）

8. 日臨技関係
   ・情勢報告会・賀詞交換会（中止）
   ・令和 3 年度日臨技理事会（手登根会長 Web 出席）
   第 1 回：令和 3 年　4 月　24 日（土）9：30～12：30
   第 2 回：令和 3 年 7 月 17 日（土）9：30～12：30

第 3 回：令和 3 年 9 月 18 日（土）9：30～12：30
第 4 回：令和 3 年 11 月 23 日（火）9：30～12：30
第 5 回：令和 4 年 1 月 22 日（土）9：30～12：30
第 6 回：令和 4 年 3 月 26 日（土）9：30～12：30

・『災害対策支援規程』等および当該規定に基づく都道府県技師会との協定締結の為の説明会
日時：令和 3 年 11 月 25 日（木）18：00～　Web 開催　　牧志理事、運天理事　参加

・役員候補者選出委員会　九州支部担当：瀬戸副会長
第 1 回　令和 3 年 5 月 30 日（日）10：00～12：00　Web 出席
第 2 回　令和 3 年 11 月 13 日（土）13：00～15：00　Web 出席
第 3 回　令和 3 年 12 月 25 日（土）13：00～16：00　現地出席（日臨技事務所）
第 4 回　令和 4 年 3 月 12 日（土）13：00～15：00　Web 出席

9. 九州支部関係

・九州支部幹事会（Web 併用会議）
日時：令和 3 年 11 月 5 日（土）16：00～17：30　場所：沖縄コンベンションセンター会議棟
手登根会長、山城副会長、安里副会長、瀬戸副会長、田盛事務局長、山内理事　出席

・九州支部事前レク（Web 併用会議）
日時：令和 3 年 4 月 23 日（金）、7 月 16 日（金）、9 月 17 日（金）、11 月 22 日（月）、令和 4 年 1 月 21 日（金）、3 月 25 日（金）いずれも 17：30～18：30　：手登根会長 Web 出席

・九州支部連絡会議・幹事会（Web 併用会議）
日時：令和 4 年 2 月 5 日（土）
学術部門長会議（14：00～15：00）斎藤理事 Web 出席
連絡会議　　（15：00～16：00）手登根会長、山城副会長、瀬戸副会長 Web 出席
幹事・理事会議（16：00～17：00）手登根会長 Web 出席

10. 臨地実習指導者講習会（Web 講習）
令和 3 年 10 月 24 日　伊波理事、令和 3 年 10 月 31 日　山内理事　実務員研修参加
令和 4 年 2 月 27 日（日）9：00～18：00（企画責任者：手登根会長、世話人：山内理事、オブザーバー：伊波理事）、参加者 60 名、沖縄県からは友愛医療センター、県立宮古病院、ハートライフ病院、那覇市医師会生活習慣病検診センター、浦添総合病院の 5 施設が参加

11. 地域ニューリーダー育成研修会（Web 講習）
日時：令和 4 年 3 月 5 日（日）13：00～19：00

12. 世界アルツハイマー月間（9 月）
HP 掲載、ポスター掲示、事務所入口装飾にて啓蒙

13.　関連団体

・各医療団体新年会（各団体中止）

14.　日本臨床検査技師連盟沖縄県支部

・連盟本部執行委員会会議（瀬戸支部長 Web 出席）

令和 3 年 7 月 17 日（土）14：00～16：00

令和 3 年 9 月 18 日（土）14：00～16：00

令和 4 年 1 月 21 日（金）14：00～15：30

・連盟九州ブロック会議（瀬戸支部長 Web 出席）

令和 3 年 10 月 16 日（土）15：00～17：00

15.　精度保証認証施設

令和元年度審査　令和 2 年～令和 3 年認証施設　5 施設

豊見城中央病院、南部病院、ハートライフ病院、南部徳洲会病院、沖縄県立宮古病院

令和 2 年度審査　令和 3 年～令和 4 年認証施設　5 施設

琉球大学病院、沖縄県立中部病院、浦添総合病院、那覇市立病院、中頭病院

令和 3 年度審査（中止）

令和 4 年度審査より「日臨技品質保証施設認証制度」として新たな審査制度に改正

13.令和 3 年度会員数（令和 4 年 3 月 31 日確定）

870 名（昨年度 860 名、一昨年度 851 名）

第 1 号議案　令和 3 年度報告（渉外）

【渉外関係】

・2021 年度日臨技九州支部医学検査学会（第 55 回）開催（担当：沖縄県）に向けた県内の啓蒙活動

開催形式：Web（ライブ・オンデマンド）令和 3 年 11 月 6 日（土）～12 月 12 日（日）

現地収録：令和 3 年 11 月 6 日（土）　会場：沖縄コンベンションセンター

新型コロナウィルスの影響で、8 月には学会執行部で学会自体の現地開催が困難ある事が決定した。

その影響もあり、学会広報部と連携しての広報活動は十分に行えなかった。

・第 12 回新人宿泊研修会に向けた啓蒙活動

今般のコロナ禍の影響の中、3 蜜になる宿泊研修は中止とした。理事会においてオンデマンドによる web 研修も検討にあがったが、今年度も新人研修を行えない結果となった。

・公共事業の継続

1）なごみ会県民健康フェア

毎年行っている医師会をはじめとする沖縄県保健医療連合（なごみ会）の県民健康フェア、今年度もコロナ禍の影響で中止となった。

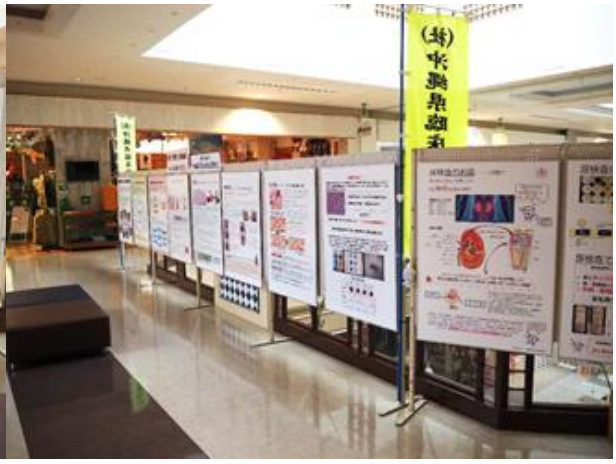
2）日臨技公益委託事業　検査と健康展

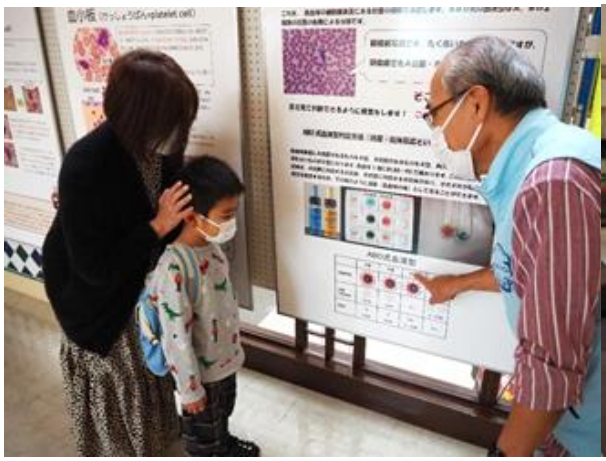
日時：R3 年 12 月 26 日（日）10：00～12：00

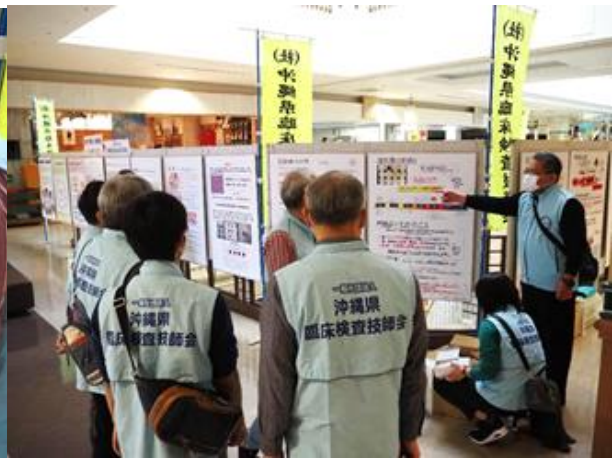
場所：イオン具志川ショッピングセンター　2F 催事用通路

感染防止の観点から、例年行っていた骨密度測定、エコー体験、顕微鏡での検査体験は行えなかった。ただし臨床検査関連のパネル（18 枚）を展示し、臨床検査への興味を持ってもらえるような広報活動を行った。また子供たちには文具類（カラーマーカー）を配布し、2 時間で約 200 名の来場者が訪れ、中には熱心に質問する子供たちの姿も見受けられた。

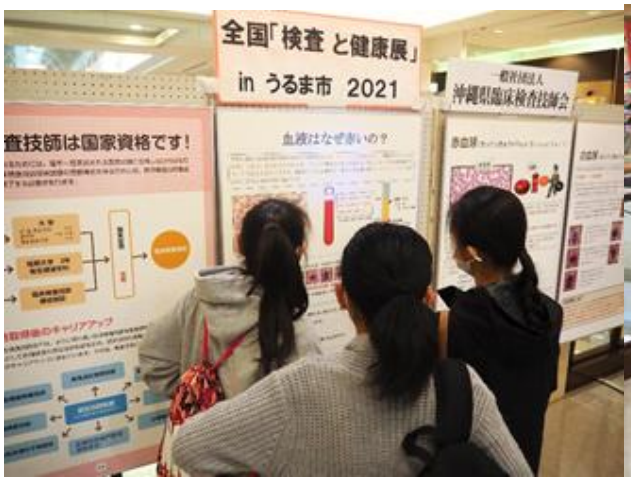














3）ピンクリボン運動　2021 沖縄イベント協力

コロナ禍の影響で中止となった。

4）県民健康公開講座（健康運動指導士会主催）への協力

コロナ禍の影響で中止となった。

・他医療団体との連携活動

1）各種関連団体主催行事などへの参加協力

2）沖縄県保健医療連合（なごみ会）や沖縄県医療推進委員会への参加

3）沖縄県公衆衛生協会、小児保健協会への協力

4）関連団体の新年会、祝賀会等への参加

1）～4）通年の活動は、コロナ禍の影響で全て中止。

第 1 号議案　令和 3 年度報告（学術）

【学術関係】

1. 2021 年度日臨技九州支部医学検査学会（第 55 回）

・会期：令和 3 年 11 月 6 日（土）～12 月 12 日（日）
・開催形式：Web（ライブ・オンデマンド）
・学会テーマ：「 パラダイムシフト～“臨床検査”のさらなる挑戦～ 」
・学会長：山城 篤（沖縄県臨床検査技師会学術担当副会長、那覇市立病院）
・実行委員長：安里 光宏（沖縄県臨床検査技師会学術担当理事、中頭病院）
・事務局長：山内 恵（沖縄県臨床検査技師会学術担当理事、琉球大学病院）
・学会企画

1）沖縄県臨床検査技師会企画

①特別講演

「変わる COVID-19、変わらない COVID-19～これからの診療と検査の姿を考える～」
講師：椎木 創一（沖縄県立中部病院）

②特別企画 シンポジウム

「新型コロナウイルスに負けない！～沖縄県における多職種のさらなる挑戦～」
講師：豊川 貴生（那覇市保健所）、原國 政直（浦添総合病院）、大城 健哉（那覇市立病院）、
春山 貴弘（株式会社 AVSS）、柿田 徹也（沖縄県衛生環境研究所）

2）日臨技企画

①日臨技企画Ⅰ

「臨床検査技師に託されたタスクシフト/シェア」
講師：丸田 秀夫（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事副会長）

②日臨技企画Ⅱ

「タスクシフトの本質と臨床検査技師の未来」
講師：宮島 喜文（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長）

③日臨技企画Ⅲ

「臨床検査技師教育制度の見直しについて」
講師：横地 常広（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事副会長）

④日臨技企画Ⅳ

「新しい“日臨技 品質保証施設認証制度”について」
講師：滝野 寿（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 専務理事）

3）部門企画

①ライブセミナー 生理検査部門

「症例から学ぶ上部消化管エコー検査」
講師：松田 英世（中部協同病院）

②パネルディスカッションⅠ 微生物検査部門

「“臨床”微生物検査技師の未来像～10 年先を見据えて現状と課題を考える～」
講師：星 紫織（福岡市医師会臨床検査センター）、上地 あゆみ（琉球大学病院）、木部 泰志
（九州大学病院）、木村 由美子（長崎大学病院）

③パネルディスカッションⅡ 病理検査部門

「治療を目指した遺伝子検査の検体処理とは」

講師：角谷 優子（福岡大学病院）、片淵 直（佐世保中央病院）、瑞慶覧 陽子（琉球大学病院）、澁木 康雄（国立がん研究センター中央病院）

④シンポジウムⅠ 臨床化学・免疫血清検査部門

「生化学・免疫検査を甘く見てはいけない～ やはり奥深い、面白い～」

講師：山内 恵（琉球大学病院）、臼井 哲也（長崎大学病院）、山内 露子（熊本大学病院）、安東 摩利子（佐世保中央病院）

⑤シンポジウムⅡ 輸血検査部門

「輸血療法の安全性と適正化への取り組み」

講師：平安山 睦美（沖縄県赤十字血液センター）、浅尾 洋次（九州ブロック血液センター）、又吉 拓（琉球大学病院）、崎田 紫織（熊本大学病院）、仲宗根 雅司（沖縄赤十字病院）

⑥教育講演Ⅰ 血液検査部門

「COVID-19 の血栓症と高フェリチン血症症候群」

講師：家子 正裕（岩手県立中部病院）

⑦教育講演Ⅱ 一般検査部門

「尿沈渣成分の再確認と新しい成分鑑別への挑戦」

講師：宿谷 賢一（国際医療福祉大学）

・一般演題：93 演題

臨床化学（6）、免疫血清（3）、輸血（7）、血液（14）、一般（7）、微生物（16）、遺伝子・染色体（9）、病理（1）、細胞（5）、生理（20）、管理運営（2）、チーム医療（1）、教育　（2）

・参加者数：1,036 名

※九州支部医学検査学会担当県にあたり、本年度は沖縄県医学検査学会を開催していない。

2. 第 37 回沖縄県医師会臨床検査精度管理調査結果報告会（令和 3 年度）

※新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の感染拡大により、令和 4 年 2 月 6 日（日）予定していた報告会は中止。各分野の報告及び教育講演についても動画で収録し、後日オンデマンド配信予定。

・教育講演：「遺伝子検査における精度管理」　講師：春山 貴弘（株式会社 AVSS 沖縄研究所）

3. 部門別検査研究分野の運営

以前の 6 部門 15 分野の学術体制から、日臨技の 9 部門に準じて、9 部門 14 分野に組織改正を維持。

部門	分野
1. 生物化学分析	1）臨床化学検査
	2）免疫血清検査
2. 臨床生理	1）神経生理検査
	2）循環・呼吸生理検査
	3）画像診断検査
3. 病理・細胞	1）病理検査
	2）細胞検査

4. 臨床一般	一般検査
5. 臨床血液	血液検査
6. 臨床微生物	微生物検査
7. 輸血細胞治療	輸血検査
8. 遺伝子	遺伝子検査
9. 臨床検査総合	1) 検査管理
	2) 医療情報

4. 学術活動（計 16 回）

	開催日	行事名	開催場所・形式	点数	参加数
1	2021/05/19	第 1 回 一般検査研修会「尿検査の基礎～尿定性編～」	Web 形式	専 20	34
2	2021/06/05	第 43 回シスメックス学術セミナー「マイクロバイオームのミラクルワールド」	Web 形式	専 20	9
3	2021/06/12	沖縄心臓イメージング研究会	Web 形式	専 20	18
4	2021/06/16	第 2 回 一般検査研修会「尿検査の基礎～尿検査の基礎～尿沈査編①～」	Web 形式	専 20	66
5	2021/07/15	第 1 回 血液検査研修会「血算の診かた～基礎編～」	Web 形式	専 20	70
6	2021/07/21	第 3 回 一般検査研修会「尿検査の基礎～尿検査の基礎～尿沈査編②～」	Web 形式	専 20	59
7	2021/08/19	第 2 回 血液検査研修会「凝固系検査の基礎」	Web 形式	専 20	63
8	2021/09/08	第 3 回 血液検査研修会「末梢血液像の基礎」	Web 形式	専 20	62
9	2021/11/06	2021 年度日臨技九州支部医学検査学会（第 55 回）	Web 形式	専 40	1036
10	2021/11/17	広げよう!CKD と検査の知識	Web 形式	専 20	57
11	2021/12/07	遺伝子検査研修会「新型コロナウイルス感染症について」	Web 形式	専 20	43
12	2021/12/09	第 1 回 輸血検査研修会「新しい分子標的治療薬抗 CD47 抗体（Hu5F9-G4）が輸血検査に与える影響に関して」	Web 形式	専 20	37
13	2022/01/13	第 2 回 輸血検査研修会「非溶血性輸血副作用と科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドラインについて」	Web 形式	専 20	25
14	2022/02/06	第 37 回 沖縄県医師会臨床検査精度管理調査結果報告会	Web 形式	基 20	－
14	2022/02/26	第 225 回 沖縄臨床微生物研究会「第 33 回日本臨床微生物学会総会・学術集会報告会」	Web 形式	専 20	22
15	2022/03/10	第 3 回 輸血検査研修会「県内施設における危機的出□への取り組みについて」	Web 形式	専 20	39
16	2022/03/16	潰瘍性大腸炎における便中カルプロテクチン測定の意義	Web 形式	専 20	31

5. 学術会議（計 0 回）

※ 本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を配慮、および 2021 年度九州支部医学検査学会の企画や各委員会への動力の移行のため未開催。

第2号議案　会計報告

令和3年度　収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

（単位：円）

Ⅰ一般正味財産増減の部 1．経常増減の部	前年度決算 （令和2年度）	予算額	決算額	増減 （対予算額）	備考
（1）経常収益					
① 入会金収入					
入会金	87,500	100,000	72,500	-27,500	¥2500×29名
② 会費収入					
正会員会費収入	4,315,000	4,300,000	4,250,000	-50,000	850名
賛助会員会費収入	1,080,000	1,100,000	980,000	-120,000	49社
県会員費収入	10,000	0	5,000	5,000	1名
③ 事業収入					
事業収入	330,000	500,000	-	-500,000	県学会、祝賀会未開催
④ 補助金等収入					
助成金収入	168,500	800,000	750,000	-50,000	健康展、分野活動費
受託収入	2,904,748	1,500,000	1,646,530	146,530	医師会等
⑤ 雑収入					
受取利息	56	10	59	49	
雑収入	376,082	109,990	560,800	450,810	放技会家賃、議決権行使補助など
経常収益計	**9,271,886**	**8,410,000**	**8,264,889**	**-145,111**	
（2）経常費用					
① 事業費					
給与手当	168,000	200,000	260,000	60,000	
諸謝金	120,605	100,000	-	-100,000	
会議費	1,455,311	700,000	507,220	-192,780	精度管理会議など
旅費交通費	568,997	400,000	49,000	-351,000	行動費
通信運搬費	119,183	200,000	126,515	-73,485	
消耗品費	812,024	1,000,000	943,571	-56,429	精度管理試料など
印刷製本費	231,165	700,000	365,695	-334,305	精度管理報告書、パネル制作など
賃借料	30,000	630,000	92,665	-537,335	会場費・機器レンタル
渉外活動費	-	10,000	-	-10,000	
雑費	7,249	20,000	1,620	-18,380	
分野活動研究費	570,000	1,000,000	420,000	-580,000	分野活動・勉強会など
租税公課	21,586	40,000	-	-40,000	講師料等に伴う
② 管理費					
給与手当	986,600	1,000,000	967,140	-32,860	
福利厚生費	54,432	100,000	195,410	95,410	香典等、他団体会費・会合参加費等
会議費	62,507	200,000	43,456	-156,544	理事会、各種会議
旅費交通費	598,000	400,000	559,000	159,000	九臨技会議、理事行動費
通信運搬費	481,369	350,000	382,949	32,949	NTT、宅配、切手、ハガキなど
減価償却費	-	-	-	0	
消耗什器備品費	-	100,000	-	-100,000	
消耗品費	132,198	100,000	58,468	-41,532	
印刷製本費	632,390	200,000	165,016	-34,984	コピーカウント料
光熱水料賃借料	801,639	800,000	806,297	6,297	家賃、電気、水道
九州支部負担金	26,245	30,000	25,585	-4,415	会員840名×30円
雑費	55,395	100,000	31,071	-68,929	手続き費用・合鍵等
租税公課	28,220	30,000	36,200	6,200	源泉徴収、県税など
経常費用計	**7,963,115**	**8,410,000**	**6,036,878**	**-2,373,122**	
当期増減額	**1,308,771**	**0**	**2,228,011**	**2,228,011**	
R3年期首残高			**5,029,115**		
R4年期首残高			**7,257,126**		

第2号議案　会計報告

令和3年度　損益計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

（単位：円）

Ⅰ一般正味財産増減の部 1．経常増減の部	継続事業 健康検査フェスタ 予防啓発事業 日臨技助成事業	継続事業 精度管理事業	生涯教育事業	法人会計	合計
（1）経常収益					
① 入会金収入					
入会金	－	－	－	72,500	72,500
② 会費収入					
正会員会費収入	－	－	－	4,250,000	4,250,000
賛助会員会費収入	－	－	－	980,000	980,000
県会員費収入	－	－	－	5,000	5,000
③ 事業収入					
事業収入	－	－		－	0
④ 補助金等収入					
助成金収入	500,000	－	250,000	－	750,000
受託収入	－	1,646,530	－	－	1,646,530
⑤ 雑収入					
受取利息	－	－	－	59	59
雑収入	－	－		560,800	560,800
経常収益計	**500,000**	**1,646,530**	**250,000**	**5,868,359**	**8,264,889**
（2）経常費用					
① 事業費					
給与手当	100,000	150,000	10,000		260,000
諸謝金					0
会議費		499,089	8,131		507,220
旅費交通費	45,000	－	4,000		49,000
通信運搬費		109,835	16,680		126,515
消耗品費	116,666	823,830	3,075		943,571
印刷製本費	126,830	238,865			365,695
賃借料	52,415	10,000	30,250		92,665
渉外活動費		－			0
雑費	－	－	1,620		1,620
分野活動研究費	－	－	420,000		420,000
租税公課		－			0
② 管理費					
給与手当				967,140	967,140
福利厚生費				195,410	195,410
会議費				43,456	43,456
旅費交通費				559,000	559,000
通信運搬費				382,949	382,949
減価償却費				－	
消耗什器備品費				－	0
消耗品費				58,468	58,468
印刷製本費				165,016	165,016
光熱水料賃借料				806,297	806,297
九臨技負担金				25,585	25,585
雑費				31,071	31,071
租税公課				36,200	36,200
経常費用計	**440,911**	**1,831,619**	**493,756**	**3,270,592**	**6,036,878**
当期増減額	**59,089**	**-185,089**	**-243,756**	**2,597,767**	**2,228,011**
R3年期首残高					**5,029,115**
R4年期首残高					**7,257,126**

第2号議案　会計報告

令和3年度　財産目録

令和4年3月31日

（単位：円）

科目	細目		金額
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
① 現金	一般会計		113,117
	特別会計		0
② 貯金			
	普通預金	琉球銀行　古島支店 135-420	7,944,009
	〃	琉球銀行　真栄原支店 449-472	4,300,921
2　固定資産			
① 基本財産			0
② 特定資産（学会準備金）			0
③ その他固定資産			0
資産合計			12,358,047
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
① 未払い金			
② 前受金	令和4年度会費		0
	令和4年度入会費		0
	令和4年度賛助会員費		800,000
	令和4年度広告費		0
2　固定負債			
① 事業費	学会等準備金・事務所設立資金		4,300,921
負債合計			5,100,921
正味財産			7,257,126

第2号議案　会計報告

令和3年度　貸借対照表

令和4年3月31日現在

（単位:円）

科目	金額	科目	金額
Ⅰ資産の部		Ⅱ負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
		①未払い金	0
①現金	113,117	②前受金	800,000
②預金	12,244,930	流動負債計	800,000
流動資産計	12,358,047	2.固定負債	
		①事業費	4,300,921
2.固定資産		固定負債計	4,300,921
① 基本財産	0	**負債合計**	**5,100,921**
② 特定資産(学会準備金)	0		
③ その他固定資産	0	Ⅲ正味財産の部	
		1.指定正味財産	
固定資産計	0	①補助金	0
		②受取利息	0
		指定正味財産計	0
		2.一般正味財産	
		一般正味財産計	7,257,126
		(うち基本資産への充当額)	
		(うち特定資産への充当額)	
		正味財産計	**7,257,126**
資産合計	**12,358,047**	**負債及び正味財産合計**	**12,358,047**

第2号議案　会計報告

【別紙2：公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【　令和　3　年度（　令和3年4月1日　から　令和4年3月31日　まで）の概要】

1. 公益目的財産額	7,327,965 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（①＋②－③）	4,889,651 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	4,763,651 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	2,272,530 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	2,146,530 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	2,438,314 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由[注]	
当該年度は新型コロナウィルス感染拡大に伴い会員施設などにおいて臨床検査業務の負担が増大し、本事業に関わる人材確保が困難であったのと同時に感染拡大防止の観点から不特定多数と接する一般市民向けの健康啓発活動を小規模開催したため十分な経費の活用ができなかったため、昨年に続き公益目的支出計画に遅れを生ずることとなった。	

注：詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和6年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	7,327,965 円	7,327,965 円	7,327,965 円	7,327,965 円	7,327,965 円
公益目的収支差額	5,670,000 円	4,940,937 円	6,300,000 円	4,889,651 円	6,930,000 円
公益目的支出の額	2,830,000 円	1,736,554 円	2,830,000 円	2,272,530 円	2,830,000 円
実施事業収入の額	2,200,000 円	1,559,268 円	2,200,000 円	2,146,530 円	2,200,000 円
公益目的財産残額	1,657,965 円	2,387,028 円	1,027,965 円	2,438,314 円	397,965 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

第2号議案　監査報告

監　査　報　告　書

令和 4 年 5 月 14 日

一般社団法人沖縄県臨床検査技師会
会長　手登根　稔　様

監事　多和田直順

監事　屋我栄

私たち監事は、当技師会の令和３年４月１日から令和４年３月31日までの令和３年度の理事の職務の執行についての監査を行いました。その内容について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当技師会の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその付属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及び付属明細書について監査しました。

2. 監査の結果

(1)　事業報告等の監査結果

一　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)　計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及び付属明細書は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適切に示しているものと認めます。

以上

第2号議案　監査報告

令和３年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般社団法人沖縄県臨床検査技師会
会　長　　手登根　稔　　殿

私たち監事は、令和３年４月１日から令和４年３月31日までの令和３年度事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第２項において準用する一般社団法人および一般財団法人に関する法律第124条第１項及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律および公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第43条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

１．監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について精査しました。

２．監査意見

ア　公益目的支出及び実施事業収入について、事業別区分経理を行った上で各事業に関連する費用及び収入が適正な基準で配賦されているとともに、公益目的事業計画に基づいた内容で事業が執行されていると認められます。

イ　公益目的支出計画が計画どおり実施されていることによって、適切な公益目的収支差額となっており、公益目的財産額が見込みどおりに減少していると判断します。

ウ　行政庁へ提出すべき公益目的支出計画実施報告書に関する書類が備わっていることを確認しました。

以上、当法人の公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

令和 ６ 年 ５ 月 16 日

一般社団法人　沖縄県臨床検査技師会

監　事　多和田真順

監　事　屋我栄

第 3 号議案　令和 4 年度事業計画

令和 4 年度　事業計画

現在沖縄県においては、新型コロナウイルス感染症の第七波が全国に先駆けて到来していると思われ、一向に収束する気配がありません。現在流行してますオミクロン株は、感染力は強いものの重症化率は低く、3 回目のワクチンを接種していない若年者に多くの陽性者が出ております。しかし、経済も同時に回す必要があり、このゴールデンウイーク中は観光客をはじめ、多くの方々が観光地やデパート等に繰り出し賑わっておりました。今年度は沖臨技としましても、with コロナを前提に活発に活動していく所存です。

重点課題としましては、まず「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の開催です。昨年度開催が延期になった第 1 回目の講習会は、無事 4 月 29 日に終了し、新たに 58 名の方々が講習会を受講することが出来ました。また、現時点で 50 名余りの方々が座学受講を終了しており、90 名余りの方々が座学受講中であります。今年度の予定では、第 2 回目を 7 月に、第 3 回目を 9 月に開催する予定で、今後 3 年かけて 10 回（約 600 名）開催予定しております。未受講の会員の皆様は早めの受講をお願いしたいと思います。そして、講習会を終了された方々は、是非自施設に持ち帰って一つでも今出来ることから始めていただき、国が掲げるタスク・シフト/シェア事業に貢献していただければ幸いです。

二つ目の重点課題は、臨地実習指導者の養成です。臨地実習受入れ施設においては、1 名以上の臨地実習指導者を配置することが義務付けられました。2024 年度から大幅に変わる臨床検査技師養成課程の見直しに向けて、支部ごとに「臨地実習指導者講習会」が開催されております。沖縄県では該当施設が 20 施設ほどあり、既に 5 施設ほどの担当者が受講されましたが、残りの施設におかれましても早めの受講をお勧めいたします。

この数年開催してない新人研修会におきましては、本来ならば顔を突き合わせての一泊研修会がベストではありますが、今の状況では、先行きが見えず今年度も現地開催は困難かも知れません。今年度は、中止するのでは無く、Web を用いて顔が見えるような研修会が開催できれば幸いかと考えております。

また、何と言っても沖臨技は学術団体ですので、すべての分野からの研修会を以前のように多く開催できるよう推進していきたいと思います。昨年度は研修会開催回数が過去最低の結果となってしまいましたが、今年度は各部門・分野、是非多くの研修会を企画して活発に学術活動を実施いただけますよう宜しくお願いいたします。

ところで、先日宮島会長が今度の参議院選挙に出馬しないとのショッキングなお知らせがございました。6 年前に宮島会長が参議院議員になられてから、検体採取やタスクシフト、精度管理の義務化等、数々の法改正がなされ、臨床検査技師は社会的にも注目されるようになってきたかと思います。皆様におかれましても、国会議員の有無でこんなにも状況が変わることをこの 6 年間で実感できたことと存じます。3 年後もしくは 6 年後、新たな人材が頭角することを期待して、我々は一致団結して組織強化を図っていく必要がございます。沖臨技と技師連盟は車の両輪となって、共に臨床検査技師の地位向上に向けて協力していかなければなりません。現在、沖縄県における連盟会員数は、目標の 100 名を大幅に下回り、30 名弱しかありませんので、是非、皆様のご協力とご支援をお願いしたいと存じます。

そして、今年度はもう一つ大きなイベントがございます。沖臨技創立 70 周年記念式典の開催と記念誌の発行です。沖臨技は 1950 年 9 月 30 日に結成され、今年で 72 年目を迎えますが、このコロナ禍においては記念式典もままならず、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら今年度、是非開催に漕ぎつけたいと考えております。

最後になりますが、まだまだ先行き不明のこのコロナ禍におきましては、十分な活動が出来ない状況かと思います。沖臨技としましては、With コロナ下で最大限の活動が出来ますよう、臨床検査技師の更なる地位向上を目指して取り組んでいく所存でございます。会員並びに賛助会員の皆様方のさらなるご協力を宜しくお願いいたします。

一般社団法人沖縄県臨床検査技師会　会長　手登根　稔

第 3 号議案　令和 4 年度事業計画（総務）

【総務関係】

1. 組織運営の強化
    1） 日臨技、九州支部、各都道府県技師会との連絡・連携体制の構築及び維持。
    2）会員数の増加が横ばい状態に推移しつつあり、引き続いての継続会員の維持及び新入・再入会員確保に努める。
    3）日臨技企画講習会の効率的な稼働及び各種認定技師制度の啓蒙・取得促進をはかる。
    4）行政庁、他医療関連団体との交流を密にし、連携をはかる。
    5）財務管理の徹底と強化。
    6）各種委員会の円滑運用の補助。
    7）コロナ禍における感染対策を考慮した活動や会議運用への取組み。
    8）沖臨技 70 周年記念誌の発刊。

2. 情報、連絡網の強化
    1） 定期便の活用（会員および賛助会員への情報提供）
    2）会員名簿の適正管理と有効活用
    3）先島地区の情報共有と学術支援
    4）日臨技会員専用サイトの活用普及と情報更新の促進

3. 広報活動
    1）沖臨技ホームページの充実（円滑運用、情報発信の強化）のための補助
    2）各種メディアの活用

4. その他
    1）公益目的支出の計画的運用
    2）事務員の効果的業務運用と就業環境整備
    3）沖臨技会誌の継続発行
    4）各賞受賞及び 70 周年記念祝賀会の開催
    5） 渉外、学術と協働した事業の推進
    6）日本臨床検査技師連盟沖縄県支部活動への協力
    7）コロナウィルス感染症対策における行政、関係団体との共同活動への参画

第 3 号議案　令和 4 年度事業計画（渉外）

【渉外関係】

・2022 年度日臨技九州支部医学検査学会（第 56 回）開催（担当：福岡県）に向けた県内の啓蒙活動
日時：令和 4 年 11 月 5 日（土）～6 日（日）　　会場：久留米シティプラザ（福岡県久留米市）

・第 12 回新人宿泊研修会に向けた啓蒙活動
開催時期や場所は検討中、またコロナ禍の状況によっては Web 開催も考慮する。

・タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会開催に向けた県内の啓蒙活動
第二回目は 7 月 17 日（日）おきなわクリニカルシミュレーションセンターにて開催予定。今後、3 年間かけて 10 回（約 600 名）開催予定

・公共事業の継続
1）なごみ会県民健康フェア　（2022 年度　中止決定）
2）日臨技公益委託事業　検査と健康展　（11 月～2 月に開催予定）
3）ピンクリボン運動　2022 沖縄イベント協力（10 月予定）
4）県民健康公開講座（健康運動指導士会主催）への協力

・他医療団体との連携活動
1）各種関連団体主催行事などへの参加協力
2）沖縄県保健医療連合（なごみ会）や沖縄県医療推進委員会への参加
3）沖縄県公衆衛生協会、小児保健協会への協力
4）関連団体の新年会、祝賀会等への参加

・その他
沖臨技発展のための事業等

第 3 号議案　令和 4 年度事業計画（学術）

【学術関係】

1. 令和 4 年度第 57 回 沖縄県医学検査学会

・会期：令和 4 年 10 月 16 日（日）

・会場：浦添市産業振興センター・結の街

※開催形式は現段階で現地の予定だが、今後の新型コロナウイルス感染状況次第では、ハイブリットもしくは Web のみへ変更もあり得る。また、学会テーマ、学会長、実行委員長は決定次第、追って報告する。

2. 部門別検査研究分野の運営

今年度も日臨技に準じて、9 部門 14 分野の学術活動（研修会・講演会等）で運営して行く。また、沖縄県医師会精度管理調査委員会から実行委員長、副実行委員長も、数年前から学術委員として位置付けている。

＜部門別検査研究分野＞

部門	分野
1. 生物化学分析	1）臨床化学検査
	2）免疫血清検査
2. 臨床生理	1）神経生理検査
	2）循環・呼吸生理検査
	3）画像診断検査
3. 病理・細胞	1）病理検査
	2）細胞検査
4. 臨床一般	一般検査
5. 臨床血液	血液検査
6. 臨床微生物	微生物検査
7. 輸血細胞治療	輸血検査
8. 遺伝子	遺伝子検査
9. 臨床検査総合	1）検査管理
	2）医療情報

＜精度管理調査委員会＞

実行委員長	副実行委員長

3. 令和 4 年度（第 38 回）沖縄県医師会臨床検査精度管理調査の実施

県内の約 90 施設を対象に、今年度同様、生化学・免疫検査、微生物検査、血液検査、一般検査、輸血検査、生理検査、病理・細胞検査の 8 分野について実施予定（8 月頃予定）。

4. 第 71 回日本医学検査学会 in 大阪の開催

開催形式：ハイブリット（現地＋Web）

会期：[現地] 令和 4 年 5 月 21 日(土)～5 月 22 日(日)

[Web]　令和 4 年 5 月 21 日(土)～7 月 10 日(日)

会場：ATC ホール・ハイアットリージェンシー大阪
テーマ：「 躍動！時代へ繋ぐ臨床検査 ～Challenge for the future～」

5. 2022 年度九州支部医学検査学会 in 福岡（第 56 回）の開催

開催形式：現地
会期：令和 4 年 11 月 5 日(土)～11 月 6 日(日)
会場：久留米シティプラザ
テーマ：「 Going On ～つなぐ・つなげる臨床検査～」

6. 第 12 回沖臨技新人宿泊研修会の開催

日時：未定
場所：未定
対象：1～3 年目
※技師会の組織・各業務内容の説明、技師連盟、各学術分野長によるレクチャー等の内容だが、新型コロナウイルス感染状況によるため、開催する場合は追って報告する。

7. 機関誌の発行

今年度も、学会誌を含んだ沖縄県臨床検査技師会誌第 58 巻を発刊する。論文や学術関連、啓発活動などの年間行事だけでなく、引き続き一般会員に反映できる場として位置づけていきたい。

8. 各種研修会

日臨技より 1 研修会につき 5 万円の助成金制度（最大 20 研修会）に関しては、昨年度は 5 研修会を実施することができなかった。今年度は、Web 開催がより浸透してきており、この助成金制度を最大限に活用して、充実した研修会を継続して展開していきたい。

9. 部門長会議の継続

学術理事、部門長、分野長を含めた学術会議は年数回開催しているが、昨年度は 2021 年度九州支部医学検査学会の準備やコロナ禍の影響により開催出来なかったが、学術部門の主たる場であり、今年度は積極的に開催していきたい。

第3号議案

令和4年度予算書（比較表）

令和4年4月1日～令和5年3月31日　　令和4年3月作成

Ⅰ一般正味財産増減の部 1．経常増減の部	R2年予算	前年度 R2年決算	R3年予算	**R4年予算**	備考
（1）経常収益					
① 入会金収入					
入会金	125,000	87,500	100,000	100,000	¥2,500×40名
② 会費収入					
正会員会費収入	4,300,000	4,315,000	4,300,000	4,300,000	¥5,000×860名
賛助会員会費収入	1,000,000	1,080,000	1,100,000	1,100,000	¥20,000×55社
県会員費収入	－	10,000	－	－	
③ 事業収入					
事業収入	2,250,000	330,000	500,000	2,000,000	県学会参加費、広告等
④ 補助金等収入					
助成金収入	1,100,000	168,500	800,000	800,000	健康展、研修会
受託収入	1,500,000	2,904,748	1,500,000	1,500,000	医師会精度管理事業
⑤ 雑収入					
受取利息	10	56	10	10	
雑収入	124,990	376,082	109,990	199,990	放技家賃立替分など
経常収益計	**10,400,000**	**9,271,886**	**8,410,000**	**10,000,000**	
（2）経常費用					
① 事業費					
給料手当	220,000	168,000	200,000	200,000	
諸謝金	120,000	120,605	100,000	120,000	
会議費	1,000,000	1,455,311	700,000	630,000	弁当など
旅費交通費	600,000	568,997	400,000	400,000	行動費など
通信運搬費	200,000	119,183	200,000	200,000	発送費など
消耗品費	1,000,000	812,024	1,000,000	1,000,000	精度管理試薬など
印刷製本費	700,000	231,165	700,000	1,300,000	
賃借料	1,450,000	30,000	630,000	800,000	学会、式典、祝賀会
渉外活動費	10,000	－	10,000	10,000	
雑費	20,000	7,249	20,000	20,000	
分野活動研究費	1,100,000	570,000	1,000,000	1,000,000	
租税公課	20,000	21,586	40,000	40,000	
② 管理費					
給料手当	1,000,000	986,600	1,000,000	1,000,000	
福利厚生費	150,000	54,432	100,000	200,000	
会議費	200,000	62,507	200,000	200,000	
旅費交通費	800,000	598,000	400,000	870,000	
通信運搬費	350,000	481,369	350,000	500,000	
減価償却費		－	－	－	
消耗什器備品費	100,000	－	100,000	100,000	
消耗品費	150,000	132,198	100,000	150,000	
印刷製本費	250,000	632,390	200,000	300,000	
光熱水料賃借料	850,000	801,639	800,000	800,000	
九臨支部負担金	30,000	26,245	30,000	30,000	
雑費	50,000	55,395	100,000	100,000	
租税公課	30,000	28,220	30,000	30,000	
経常費用計	**10,400,000**	**7,963,115**	**8,410,000**	**10,000,000**	
当期経常増減額	**－**	**1,308,771**	**－**	**－**	

第3号議案

令和4年度予算

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（単位：円）

Ⅰ一般正味財産増減の部 １．経常増減の部	継続事業 検査と健康展 予防啓発事業 日臨技助成事業	継続事業 精度管理事業	生涯教育事業	法人会計	合計
（１）経常収益					
① 入会金収入					
入会金	0	0	0	100,000	100,000
② 会費収入					
正会員会費収入	0	0	1,300,000	3,000,000	4,300,000
賛助会員会費収入	0	0	0	1,100,000	1,100,000
県会員費収入	0	0	0	0	0
③ 事業収入					
事業収入	0	0	2,000,000	0	2,000,000
④ 補助金等収入					
助成金収入	500,000	0	300,000	0	800,000
受託収入	0	1,500,000	0	0	1,500,000
⑤ 雑収入					
受取利息	0	0	0	10	10
雑収入	0	0	0	199,990	199,990
経常収益計	500,000	1,500,000	3,600,000	4,400,000	10,000,000
（２）経常費用					
① 事業費					
給料手当	25,000	75,000	100,000		200,000
諸謝金	50,000	20,000	50,000		120,000
会議費	30,000	400,000	200,000		630,000
旅費交通費	100,000	0	300,000		400,000
通信運搬費	10,000	90,000	100,000		200,000
消耗品費	50,000	900,000	50,000		1,000,000
印刷製本費	100,000	200,000	1,000,000		1,300,000
賃借料	150,000	0	650,000		800,000
渉外活動費	10,000	0	0		10,000
雑費	10,000	0	10,000		20,000
分野活動研究費	0	0	1,000,000		1,000,000
租税公課	10,000	0	30,000		40,000
② 管理費					
給料手当				1,000,000	1,000,000
役員報酬				－	0
福利厚生費				200,000	200,000
会議費				200,000	200,000
旅費交通費				870,000	870,000
通信運搬費				500,000	500,000
減価償却費				0	0
消耗什器備品費				100,000	100,000
消耗品費				150,000	150,000
印刷製本費				300,000	300,000
光熱水料賃借料				800,000	800,000
九臨技負担金				30,000	30,000
雑費				100,000	100,000
租税公課				30,000	30,000
経常費用計	545,000	1,685,000	3,490,000	4,280,000	10,000,000
当期増減額	−45,000	−185,000	110,000	120,000	0

第４号議案　ひまわり奨学金の設立について

会員各位

この度、臨床検査技師育成のために「ひまわり奨学金」を設立したく、会員の皆様の承認をお願いします。

（目的）
　将来、沖縄県の臨床検査技師として社会をリードする優秀な人材で経済的に支援が必要な学生を育成することを目的とする。

（ひまわり奨学金設立の経緯）
　元琉球大学医学部保健学科教授（本人の希望で名前は非公開としています）より、臨床検査技師の将来のために沖縄県臨床検査技師会へ寄付をしたいと申し出がありました。

手登根会長、仲程元会長が直接元教授とお会いになり詳細を確認し、臨床検査技師を目指す学生のための奨学金制度を作る方向で一致しました。

法制度や資金運用の確認のため、税理士事務所からアドバイスをもらい、実現に向けて準備に入ることになりました。

制度設立に向けて、沖縄県臨床検査技師会の諮問機関として奨学金制度設立のためのワーキンググループ（WG）を立ち上げ検討に入りました。

　＜ひまわり奨学金設立 WG＞

・手登根　稔（沖縄県臨床検査技師会会長）
・瀬戸　司　　（同副会長）
・宮城　和文（同理事、琉球大学医学部保健学科助教）
・仲程　昭子（元沖縄県臨床検査技師会会長）
・高嶺　房枝（元琉球大学医学部保健学科准教授）

　規程を整備し、今年度（令和４年度）からの運用開始に向けて沖縄県臨床検査技師会理事会にて総会議案として受理され、総会にて審議を行うに至りました。

一般社団法人　沖縄県臨床検査技師会ひまわり奨学金規定

（目的）

第１条　この事業は奨学事業の一つとして人材育成することを目的とする。
この規定は、一般社団法人沖縄県臨床検査技師会（以下「沖臨技」という）定款第４条９項に基づき必要事項を定める。

（名称）

第２条　この奨学金制度の名称は「沖縄県臨床検査技師会ひまわり奨学金」とする。

（奨学生対象者）

第３条　奨学生対象者は次の各項のすべてを満たす者とする。

1. 沖縄県内の高等学校在学中において、学業、人物とも申し分なく、臨床検査技師養成校へ進学を希望する者。
2. 学業を継続するために経済的支援が必要と認められる者。
3. 臨床検査技師養成校卒業後、臨床検査技師として沖縄県の医療、福祉分野において貢献が期待できる者。
4. 他の給付型奨学金を受けていない者（但し、貸与型奨学金は除く）。

（家計の基準）

第４条　本人の属する世帯の生計維持者の前年（1～12 月）の総所得金額が 400 万円未満であること。この場合、生計維持者とは、父母がいる場合には父母（２名）が該当する。また、総所得金額とは、市町村等が発行する生計維持者の所得証明書の総所得金額の合計をいう。

（奨学金の額）

第５条　奨学金の額は一人当たり次の通りとする。

1. 臨床検査技師養成校進学者（県内）・・・月額 30,000 円（年額 360,000 円）
2. 臨床検査技師養成校進学者（県外）・・・月額 50,000 円（年額 600,000 円）

（給付期間）

第６条　奨学金の給付期間は、就学期間が４年制の場合には第１回目の奨学金の受給から４年間、就学期間が３年制の場合には３年間とする。但し、毎年生計維持者の所得証明書を提出すること。

（給付人数）

第７条　奨学生の人数は若干名とし、沖臨技の諮問委員会にて決定する。

（奨学生の募集・選考）

第 8 条　奨学生の募集・選考については次の通りとする。

1. 募集・選考に関して必要な事項は諮問委員会と沖臨技理事会で協議の上、別途定める。
2. 毎年度の募集要項が決定次第、沖臨技ホームページ等で募集する。
3. 奨学金を希望する者は、所定の申請書類を募集期日までに沖臨技会長へ提出しなければならない。
4. 諮問委員会で書類選考（必要に応じて面接）を行い、該当者を沖臨技理事会へ推薦し決定する。

（奨学金の交付）

第 9 条　奨学金は 5 月と 10 月の 2 回に分けて交付する。

（奨学金領収証の提出）

第 10 条　奨学金の交付を受けたものは、直ちに奨学金領収証を沖臨技会長宛てに提出しなければならない。

（学業成績の報告）

第 11 条　奨学生は、交付対象当該年度における学業成績表を沖臨技会長あて提出しなければならない。

（奨学生の届け出事項）

第 12 条　奨学生は交付対象当該年度中に次のいずれかに該当する場合は、直ちに沖臨技会長に届けなければならない。

1. 休学、転学、退学したとき。
2. 停学その他の処分を受けたとき。
3. 住所、氏名その他重要事項に変更があったとき。

（奨学金の辞退）

第 13 条　奨学生は、いつでも奨学金を辞退する事ができる。転学、退学したときは奨学金を辞退したものとみなす。

（奨学金の支給停止）

第 14 条　奨学生が次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、沖臨技は奨学金の支給を停止することができる。

1. 第 12 条に該当するにも拘わらず届出が無い場合。

2. 傷病・疾病などのため成業の見込みがないと判断された場合。
3. 学業成績または性行が不良と判断された場合。
4. 奨学生として適当でないと判断された場合。
5. 除籍処分で学籍を失った場合。

（規定の改廃）
第 15 条　この規定の改廃は沖縄県臨床検査技師会理事会の議を経なければならない。

（補足）
第 16 条　この奨学金は琉球大学医学部保健学科元教授から臨床検査技師育成のため寄付されたものである。その意思を尊重し他の目的に使ってはならない。

（経費負担）
第 17 条　この奨学金制度の運用に係る経費は本基金より捻出する。

（事業の終了）
第 18 条　この奨学金の原資が枯渇した場合は、これをもって本事業を終了する。

付則
この規定は令和 4 年 6 月 18 日から施行する。

令和 4 年 5 月 13 日

沖縄県臨床検査技師会
会長　手登根　稔　殿

令和 4 年・5 年度沖縄県臨床検査技師会役員推薦について（答申）

日頃より沖縄県臨床検査技師会の運営、発展に多大なるご尽力を注がれていることに敬意を申し上げます。今回、令和 4 年 2 月 11 日に役員推薦委員の委嘱を受け、委員のメンバーと委員会やメールでの話し合いを持ち、推薦委員会として最終案がまとまりましたので答申いたします。

役員推薦委員会としては、以下の基本姿勢で役員の推薦にあたった。
1）過去に行われてきた推薦委員会の入選手法を踏まえ、始めに現役員の継続意思の確認を行った。
2）現役員に役員継続の意思の確認が得られた場合、候補者として推薦した。
3）原則として、推薦に当たっては積極性、協調性、そして指導力を念頭に入れ、役員会としてそのことを十分に考慮し推薦した。
4）地域や施設間のバランス性が考慮されるべきであるが、実際に入選するに当たっては、それらの事が技師会運営の弊害とならないようにした。
5）日本臨床検査技師会（以下：日臨技）においては、平成 17 年に女性部会が設置され、女性技師の意見が技師会運営に大きな提言になることを見越しており、女性技師も積極的に推薦した。

以上の基本姿勢で、委員会としてその目的のために委員同士で検討を重ね、責務を全うした。
新理事会が、これまで以上に活発な議論の場となり、沖縄県臨床検査技師会の発展に寄与することを祈念しております。

役員推薦委員会
又吉　和哉（琉球大学病院）
古我知憲康（元沖縄県立中部病院）
金城　光幸（沖縄県立中部病院）
當銘　弘幸（沖縄赤十字病院）

令和4年・5年度　沖縄県臨床検査技師会理事候補者名簿（案）

【理事】

氏　名	施設名	留任・新任
手登根　稔	浦添総合病院	留任
山城　篤	那覇市立病院	留任
宮里　泰山	沖縄県立中部病院	留任
山内　恵	琉球大学病院	留任
田盛　仁	沖縄県立中部病院	留任
與那嶺　淳	中部徳洲会病院	留任
宮城　和文	琉球大学医学部保健学科	留任
登川　雅子	友愛医療センター	留任
原國　督	翔南病院	留任
牧志　輝	沖縄県立北部病院	留任
喜舎場　良香	浦添総合病院	留任
国仲　伸男	国立病院機構　沖縄病院	新任
金城　正樹	中頭病院	新任
立津　千絵	南部徳洲会病院	新任
八幡　照幸	沖縄県立八重山病院	新任
玉城　正幸	沖縄協同病院	新任
我如古　靖	ハートライフ病院	新任
仲宗根　雅司	沖縄赤十字病院	新任
花木　美香	沖縄県立北部病院	新任
喜納　はるみ	中部地区医師会成人病検診センター	新任